

教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書
(令和7年度対象)

遠別町教育委員会

目 次

1	趣 旨	1
2	点検・評価の対象	1
3	点検・評価の方法	1
4	点検・評価の公表	1
5	教育委員会の活動状況	1
6	教育委員会委員の主な活動状況	3
7	教育委員会関連委員会の活動状況	4
8	主要施策に係る事務事業の実施状況	5
	点検・評価施策シート	6
9	外部評価	12

令和7年度 教育委員会の活動状況に関する点検。評価について

1 趣 旨

本報告書は、効果的な教育行政に資するため、令和7年度における教育委員会の主な活動状況や実施状況をまとめ、その結果を作成して議会に提出し、住民に公表する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、遠別町総合計画及び令和7年度教育行政執行方針に基づく事務事業を基本に、教育委員会の主要な施策・事業を対象とする。

3 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、事業の進捗状況を明らかにするとともに、令和7年度に実施した主要施策の実施状況について自己評価（内部評価）を行い、その結果の課題等を分析し、今後の方向性を示すこととする。

4 点検・評価の公表

教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書は、議会に提出するとともに町民に公表する。

5 教育委員会の活動状況

令和7年度教育委員会の会議は、教育に関する行政課題に対応するため、原則公開により、毎月1回の開催を基本とし、規則の制定、学校をはじめとした教育機関の運営、各種委員の委嘱など審議を重ね、方針を決定している。

また、委員の研修を図り教育行政の理解を深めるとともに、小・中学校への学校訪問などによる学校教育活動及び各種社会教育事業の推進を図っている。

（1）委員構成

職 名	氏 名	任 期
教育長	土 井 寿 彦	令和7年4月1日～令和9年3月13日
委 員	小田中 紀 仁	平成24年11月20日～令和9年11月19日 （教育長職務代理 平成30年3月14日～令和9年11月19日）
委 員	山 本 大 樹	平成28年11月7日～令和9年11月6日
委 員	今 井 彩 佳	令和7年3月12日～令和10年3月11日

(2) 教育委員会の会議の開催状況

① 審議案件の処理状況

議 案	28件
報 告	14件
協 議	1件

② 会議の開催状況（定例会：11回 臨時会：2回）

日 程	区 分	付 議 案 件 等
第4回 4月10日	定	議案 ・教育長職務代理者の指名について
		報告 ・令和7年度遠別町立小・中学校の主任命課状況について ・令和7年度遠別町立小・中学校の学級編成について
第5回 5月23日	定	報告 ・バレーボール少年団遠別イーグルスの全道大会出場について
		議案 ・社会教育委員の委嘱について ・スポーツ推進委員の委嘱について ・学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・令和7年度遠別町社会教育推進計画について ・遠別町総合計画審議会委員の推薦について ・令和7年度教育費等予算の補正について
第6回 6月30日	定	報告 ・令和7年度中学校体育大会の出場結果について
		議案 ・遠別町立学校職員の在宅勤務実施要綱の制定について
第7回 7月11日	臨	議案 ・全道・全国大会出場に係るスポーツ団体補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
第8回 7月24日	定	報告 ・夏季休業中の「学校閉庁日」に設定について ・令和7年度教育費等予算の補正について
第9回 8月22日	定	報告 ・令和7年度中学校体育大会全道大会出場結果について ・第45回全日本バレーボール小学生大会結果について
		議案 ・教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（令和6年度対象）について ・令和7年度教育費等予算の補正について
第10回 9月29日	定	報告 ・中学校体育大会全国大会の出場結果について
		議案 ・令和7年度全国学力・学習状況調査における遠別町の状況について ・令和7年度教育費等予算の補正について ・学校訪問の日程について
第11回 11月21日	定	議案 ・令和7年度教育費等予算の補正について
第12回 12月25日	定	報告 ・令和8年遠別町二十歳を祝う会の開催について ・冬季休業中の「学校閉庁日」の設定について
		議案 ・令和7年度遠別町優良青少年顕彰の被表彰者の決定について

日 程	区 分		付 議 案 件 等
第 1 回 1 月 20 日	定	議案	・ 令和 7 年度遠別町教育実践表彰被表彰者の決定について
第 2 回 2 月 16 日	定	報告	・ 「令和 8 年度北海道遠別農業高等学校入学者の出願状況」について
		議案	・ 遠別町次世代多目的交流センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ・ 遠別町郷土資料館設置条例の廃止について ・ 令和 7 年度教育費等予算の補正について ・ 令和 8 年度教育行政執行方針について ・ 令和 8 年度教育費等予算について ・ 令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における遠別町の状況について
		協議	・ 各学校卒業式の日程について
第 3 回 3 月 16 日	臨	議案	・ 遠別町遠距離児童生徒通学費助成要綱の制定について
第 4 回 3 月 26 日	定	報告	・ 教職員人事内申について ・ 教育委員会事務局人事について
		議案	・ 遠別町立遠別中学校指定物品支給対象補助金交付要綱を改正する要綱の制定について ・ 遠別町学校給食共同調理場条例施行規則を改正する規則の制定について ・ 次世代多目的交流センター設置及び管理に関する要綱を改正する要綱の制定について ・ 遠別町郷土資料館設置条例施行規則の廃止について

6 教育委員会委員の主な活動状況

内 容	月 日
遠別町辞令交付	R7. 4. 1
遠別町立学校職員辞令交付式	R7. 4. 4
管内市町村教育委員会教育長会議 他 (留萌市)	R7. 4. 11
遠別町総合計画策定委員会	R7. 4. 16
管内市町村教育委員会協議会会議 (留萌市)	R7. 4. 25
第 1 回遠別町総合振興計画審議会	R7. 5. 28
遠別農業高等学校生募集中学校訪問 (留萌管内)	R7. 6. 23
〃 (上川・宗谷管内)	R7. 6. 26
〃 (宗谷管内)	R7. 6. 27
管内市町村教育委員会教育長会議 (苫前町)	R7. 7. 22
北海道市町村教育委員会連合会教育長部会研修会 (札幌市)	R7. 9. 15～16
留萌管内市町村教育委員会委員研修会 (増毛町)	R7. 10. 24
教育委員学校訪問 (小・中学校)	R7. 10. 27
遠別町総合教育会議	R7. 10. 27
第 2 回遠別町総合振興計画審議会	R7. 12. 4
管内市町村教育委員会教育長会議 (オンライン)	R7. 12. 15
令和 8 年新年交礼会	R8. 1. 6

内 容	月 日
令和8年遠別町二十歳を祝う会	R8. 1. 11
令和7年度遠別町優良青少年顕彰式	R8. 1. 27
第3回遠別町総合振興計画審議会	R8. 2. 9

議会関係 定例議会への出席 6月・9月・12月・3月
臨時議会への出席 10月

学校関連事業

	入学式	運動会等	学校祭等	卒業式
遠別小学校	4月7日	6月7日	10月11日	3月20日
遠別中学校	4月7日	5月31日	9月27日	3月12日
遠別農業高校	4月8日	12月19日	7月19・20日	3月1日

7 教育委員会関連委員会の活動状況

(1) 社会教育委員会議

- ① 第1回社会教育委員会議
期日 令和7年5月8日
内容 令和7年度社会教育推進計画について 外
- ② 第2回社会教育委員会議
期日 令和7年12月17日
内容 令和7年度11月までの社会教育事業の反省・評価について
郷土資料館及び郷土資料館収蔵庫の在り方について
- ③ 第3回社会教育委員会議
期日 令和8年3月18日
内容 令和7年度社会教育事業の反省・評価について
令和8年度遠別町教育行政執行方針について
令和8年度の社会教育事業計画（案）について

(2) スポーツ推進委員会議

- ① 第1回スポーツ推進委員会議
期日 令和7年4月22日
内容 令和7年度スポーツ事業について
各種研修会等について 外
- ② 第2回スポーツ推進委員会議
期日 令和7年10月28日
内容 令和7年9月までのスポーツ事業の反省・評価について
令和7年度今後の事業について
スポーツ施設の状況について
- ③ 第3回スポーツ推進委員会議
期日 令和8年2月19日
内容 令和7年度スポーツ事業の反省・評価について
令和8年度社会教育推進計画（案）について
令和7年度スポーツ施設の利用状況について

(3) 学校給食センター運営委員会議

① 第1回学校給食センター運営委員会議

期日 令和7年10月28日

内容 令和7年度学校給食実施計画について 外

② 第2回学校給食センター運営委員会議

期日 令和8年3月25日

内容 令和8年度学校給食費保護者負担額（予定）について 外

8 主要施策に係る事務事業の実施状況

第6期遠別町総合計画の基本目標である【第4節 人を育てる、えんべつの学び】の施策体系に基づき、令和7年度教育行政執行方針に示された主要施策に係る事務事業の実施状況について自己評価（内部評価）を行った。

(1) 点検評価施策シートについて

各点検・評価施策シートを①執行方針・目的 ②推進項目 ③事務・事業 ④改善点 ⑤自己評価（現状の課題・問題点、今後の方向性）の5項目とする。

(2) 主要施策の構成

- 1 確かな学力の定着
- 2 安心・安全な学校施設の整備
- 3 遠別農業高等学校への支援
- 4 生涯学習の推進
- 5 芸術文化の振興
- 6 スポーツの振興

(3) 点検・評価について

教育委員会による自己評価については、改善、見直しにつながる事が重要である。

教育委員会による行政主体事業と各協会等の町民主体による自主事業など、町民と行政による役割分担を明確にし、町民の主体性を育てていかなければならない。

事務事業の費用対効果の判断は行政評価をするうえで重要であるが、教育は人づくりにあるという基本理念に基づき、早急な成果を求められるものではない。

事務事業の評価にあたっては、短期的、中・長期的とそれぞれの見地に立って評価し、将来像を見据えた具体的な展望を示していかなければならない。

(4) 他者評価（外部評価）について

教育委員会事務局による一次的な自己評価（内部評価）と併せて教育に関する評価の客観性を確保するため、学識経験者から意見を聴取して、二次的な他者評価（外部評価）を行った。

外部評価者

氏 名	役 職 等
草 刈 忠 和	元遠別町教育委員会委員 元遠別町青少年育成委員連絡協議会会長
磯 部 いづみ	元遠別農業高等学校PTA会長

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		1 確かな学力の定着
執行方針・目的		変化の激しい社会に対応し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に加え、「思考力・判断力・表現力」の育成や学習意欲の向上を図り、子どもたちの可能性を引き出すよう努める。
推進項目		・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の機能の活用 ・全国学力・学習状況調査結果の分析と積極的な活用 ・英語指導助手（ALT）を活用した国際理解教育と実践的コミュニケーション能力を養うための環境づくり ・複数教員によるチームティーチング（TT）や、特別支援教育支援員の継続配置によるきめ細やかな学習指導・授業改善 ・ICT 支援員の協力を得た ICT 機器の有効活用と、教職員のスキルアップ支援 ・スクールソーシャルワーカーの配置による、いじめの未然防止や不登校等の解消に向けた支援 ・「遠別町立学校における働き方改革アクションプラン」に基づく業務改善・事務軽減
事務・事業		・小・中学校教育振興事業 ・各種補助金（教育振興会事業、クラブ活動事業等）の交付 ・遠距離通学費補助金及び補助教材購入補助金の交付 ・特別支援教育支援員及び英語指導助手による教育支援 ・スクールソーシャルワーカーによる課題解決支援 ・校務支援システムの適切な運用 ・中学校における部活動地域展開に向けた検討
改善点		全国学力・学習状況調査における個々の結果分析を踏まえ、授業改善や特別支援教育支援員等との連携により、きめ細やかな指導体制を整えるよう努めた。 部活動地域展開に向けた協議を続け、年度内に遠別町地域クラブの設立に至ることができた。
自己評価	現状課題 問題点	全国学力・学習状況調査により、児童生徒の学力の傾向や課題を把握している。「知識・技術」の定着だけではなく、「思考力・判断力・表現力」などの育成に向け、児童生徒に応じた指導の充実に向けた体制づくりが必要である。
	今後の 方向性	各教科指導における指導法の改善を組織的・継続的に行う。特別支援教育支援員等を適切に配置し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を一層推進し、確かな学力の定着を図る。

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		2 安心・安全な学校施設の整備
執行方針 ・目的		児童生徒が学びやすい環境を整備するとともに、持続可能な学校経営と円滑な教育活動の継続を確保に努める。
推進項目		・遠別町教育施設長寿命化計画に基づく長期的・継続的な維持保全と、日常点検の強化による優先度の高い臨時的修繕の実施 ・中学校建設基本構想に基づく実施設計をもとにした「遠別中学校校舎改築」の着実な建設工事の推進 ・適切な衛生管理による安心・安全な学校給食の提供やアレルギー対応、機器修繕の実施
事務・事業		・各学校の施設、機器等の維持管理 ・遠別中学校校舎建設に係る補助金等の事務 ・学校給食センターの施設、調理機器等の維持管理
改善点		小学校や学校給食センターの施設及び設備を計画的に維持修繕することができた。 中学校改築工事においては、請負事業者等の打合せを行い、円滑に進めることができた。
自己評価	現状課題 問題点	小学校及び学校給食センターの老朽化が進んでおり、継続的な修繕が必要な状況にある。 中学校建設工事については、工期どおりに着実に進め、次年度には備品納入などを行い、計画どおり運用できるよう進める必要がある。
	今後の 方向性	遠別町教育施設長寿命化計画に基づき、既存施設の日常点検、優先度の高い箇所への計画的な修繕を行い、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を維持する。 学校給食センターについては、既存設備の適切な修繕を行い、安全な給食提供を継続する。

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		3 遠別農業高等学校への支援
執行方針 ・目的		遠別農業高等学校の特色を活かした魅力ある学校づくりを総合的に支援し、安定した入学者数の確保を図る。
推進項目		・遠別農業高等学校における各種活動の積極的な情報発信 ・教育振興会、高校、行政、教育委員会が一体となった生徒募集活動及びPR活動の継続
事務・事業		・遠別農業高等学校活性化プロジェクト事業 ・生徒募集事業（遠別農業高等学校教育振興会） ・遠別農業高等学校運営協議会への協力
改善点		遠別農業高等学校教育振興会や遠別農業高等学校、行政、教育委員会が一体となったこれまでの生徒募集体制をさらに強化し、中学校訪問等の積極的なPR活動を行うことができた。 遠別農業高校の事業として、「羊肉まん」のキャラクター募集を行い、メディアを活用するなど、特色を活かした魅力の発信を重点的に進めることができた。
自己評価	現状課題 問題点	近年は、中学校訪問等の積極的な生徒募集活動が功を奏し、入学者数を一定程度確保できている。また、令和7年度は大学や専門学校等への進学率が就職率を上回るなど、進路実績にも変化がみられる。 少子化が進む中で、今後も安定した入学者数を継続して確保する民には、遠別農業高等学校ならではの魅力を広く発信していく必要がある。
	今後の 方向性	教育振興会や遠別農業高校、行政、教育委員会が一体となった生徒募集体制を継続強化する。 進路実績の向上や独自の農業学習・実習活動などの学校の強みを効果的に情報発信し、中学生や保護者の進路選択における認知度・魅力度を一層高めるため、支援を継続する。

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		4 生涯学習の推進
執行方針・目的		現代的課題に対応し、豊かで充実した生活を送るため、町民が主体的に楽しみながら、知識や技術を深め、生涯を通じて学び合える環境づくりに努める。
推進項目		・幅広い世代の学習機会の充実と活躍できる場の確保 ・子育て世代の仲間づくりと地域コミュニケーションを深める学習機会の場の提供
事務・事業		・各種社会教育事業及び生涯学習事業等の実施 ・各種社会教育団体活動の充実に向けた指導及び団体事業の運営支援 ・幅広い世代の学習機会の充実 ・老朽化した生涯学習センター設備の計画的な修繕
改善点		情報化や多様性などの現代的な課題や高齢化の振興、少子化による体験機会の減少に対応するため、幅広い世代の学習機会の提供や、社会教育団体との連携による運営支援のあり方を見直しながら、各種事業を実施することができた。 生涯学習センター設備の修繕を行い、町民の利便性を高めることができた。
自己評価	現状課題 問題点	人口減少や少子高齢化が進む中であっても、子どもたちには、自己肯定感を高め、地域への愛着を育むため、体験活動の機会を提供する必要がある。 高齢者を含む全町民を対象とした相互に学び合える機会の確保が課題であり、多様なニーズに応じた学びを構築する必要がある。
	今後の 方向性	各種社会教育事業において、反省・評価を行い、町民ニーズを把握し、魅力ある事業実施に努める。 「学びが生活を豊かにする実感」を享受する社会を醸成するため、世代に合わせた事業だけではなく、多世代向けの講座や事業を展開する。 生涯学習センターの日常点検、優先度の高い箇所への計画的な修繕を行い、安全で利便性の高い環境を維持する。

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		5 芸術文化の振興
執行方針 ・目的		各種団体と連携を図り、文化活動を積極的に推進するとともに、子どもたちの豊かな心の育成に努める。
推進項目		・町内文化団体等の定期活動の充実と発表する機会の充実 ・優れた芸術文化に親しむ機会の提供 ・郷土芸能の育成・保存に対する継続的な支援 ・町民ニーズに応じた利用しやすい図書室の運営
事務・事業		・各種芸術文化活動の推進事業の実施 ・芸術文化団体活動の充実に向けた指導及び団体事業の運営支援 ・児童生徒芸術文化招へい事業 ・郷土芸能の育成及び継承支援 ・図書室の蔵書整備
改善点		芸術鑑賞事業の内容を充実させ、普段触れることができない芸術鑑賞機会を提供することができた。 図書室利用者ニーズに応じた蔵書整備を行い、利用しやすい図書室の運営に努めた。 郷土資料館の老朽化に伴い、あり方を検討した結果、廃止することとした。
自己評価	現状課題 問題点	各文化団体（サークル）の会員の減少や固定化、高齢化が進んでおり、文化祭等の発表活動における新たな担い手の発掘、育成が急務となっている。遠別町文化協会と連携し、各種事業を展開する必要がある。 住民が日常の中で、優れた芸術文化に触れ、豊かな心を育む機会を絶やさず提供する必要がある。
	今後の 方向性	各種芸術文化団体と連携し、若年層や新規参加者が加わりやすい発表機会の工夫やイベントの開催を検討する。 子どもたちに優れた芸術に親しむ機会を提供するとともに、郷土芸能の育成・継承に対する支援を継続して実施する。 幼児期からの読書週間の定着を推進するため、関係団体と連携し、読書感想文コンクールなどの事業を適切に行う。

令和7年度 遠別町教育委員会点検・評価施策シート

施策分類名		6 スポーツの振興
執行方針 ・目的		心身の健全な発達と健康で豊かな生活を送るため、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを進め、スポーツを通じた仲間づくりや健康増進の推進に努める。
推進項目		・遠別町スポーツ協会と連携した各種スポーツ団体の活動の充実 ・子どもたちが多様なスポーツを体験できる機会の提供 ・幅広い世代の健康増進や体力向上事業の拡充 ・スポーツ施設の適切な管理運営
事務・事業		・各種スポーツ活動の推進事業の実施 ・各種スポーツ団体活動の充実に向けた指導及び団体事業の運営支援 ・各スポーツ施設の設備の計画的な修繕
改善点		町民ニーズに応じた学習プログラム内容を工夫し、男退居連携しながら、各種体験教室等を開催することができた。
自己評価	現状課題 問題点	町民の健康増進や心身の健全な発達を支えるため、すべての世代において、スポーツに親しむ機会を継続して提供する必要がある。 技能別指導者資格取得の促進や、指導者の確保及び資質向上に向けた研修会への参加促進が必要である。 各種スポーツ施設の老朽化に対し、安全な利用環境を維持するため、計画的な修繕や適切な管理運営が必要である。
	今後の 方向性	スポーツ協会等と緊密に連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代が日常的にスポーツや運動に親しめる環境づくりを進める。 子どもたちの多様なスポーツ体験機会の確保や、住民の体力向上に向けた事業の拡充を図る。 町民が安心・安全に利用できるよう各スポーツ施設の計画的な整備を行い、各種スポーツ大会の開催に適切に対応できる施設管理を行う。

9 外部評価

1. 教育委員会の活動状況・教育委員の主な活動状況について

教育委員においては、毎月の定例会を通じた審議に加え、学校訪問等を通じて現場の状況を詳細に把握されており、教育行政の課題に対して適切に対応されている。特に、令和7年度は、条例等の一部改正や教育予算の適正な補正など、現場の実情に即した意思決定がなされていると評価する。また、各種委員との連携も円滑であり、教育施策の推進体制が組織的に整えられている。

2. 主要施策・事業等の実施状況について

学校教育では、全国学力・学習状況調査の結果を基にした授業改善や、特別支援教育支援員の配置によるきめ細やかな指導が継続されている。特に、部活動の地域移行に向けて、年度内に地域クラブを設立できたことは大きな進展であり、今後の持続可能なスポーツ・文化活動のモデルと期待している。

遠別農業高校については、関係機関が一体となった生徒募集活動の強化により一定の成果が見られる。一方で、少子化という厳しい環境下において、より一層その特色ある教育活動の魅力発信を強化し、中学生や保護者の関心を引き続き高めていくことを期待する。

社会教育においては、郷土資料館の廃止という大きな決定がなされた。今後は、これまで培われてきた文化・芸術活動の精神を別の形でいかに継承させていくかが重要となる。高齢化や人口減少が進む中でも、多世代が交流できる場づくりに引き続き尽力されたい。

3. 総合的な点検評価について

学校教育・社会教育ともに、令和7年度の教育行政執行方針に基づき、計画的に事業が展開されている。特に、老朽化する施設への対応や、働き方改革に向けた校務支援システムの運用など、喫緊の課題に対して具体的かつ建設的な改善策が講じられている。

今後も、町民のニーズを柔軟に捉えつつ、遠別町の教育が未来の担い手を育てる重要な柱であり続けるよう、中長期的な視点に立った施策の推進を願う。

1. 教育委員会の活動状況・教育委員の主な活動状況について

教育委員会会議が毎月定例で開催され、審議案件や報告事項について透明性を持って議論されている。委員による学校訪問や、教育行政執行方針の策定に向けた協議などを通じ、学校運営や教育環境の変化を的確に把握されている点は高く評価できる。また、教育実践表彰など、青少年育成に向けた表彰事業も適切に運用されている。

2. 主要施策・事業等の実施状況について

学校教育現場では、ICT 機器の活用や特別支援教育の推進など、現代の教育課題に対応した環境づくりが進んでいる。また、中学校の校舎改築という長期プロジェクトが着実に進

行している点は、次世代の教育環境を確保する上で非常に重要である。

遠別農業高校への支援については、情報発信を重視した PR 活動により、認知度向上に努められている。進路実績の変化も見られることから、農業高校独自の魅力をさらに深掘りし、生徒一人一人が希望する進路を実現できるような教育支援を継続してほしい。

社会教育においては、生涯学習センターの設備修繕や、各種体験教室の開催など、町民が主体的に参加できる環境が維持されている。今後は、既存事業のマンネリ化を防ぎつつ、現代社会のデジタル化に対応した講座の拡充など、町民が「学びの成果」を実感できるような工夫を一層期待したい。

3. 総合的な点検評価について

令和 7 年度の点検評価報告書は、現状の課題と今後の方向性が論理的かつ明確に示されている。特に、厳しい社会状況下であっても、町民と行政が役割分担を明確にしながら、連携して事業を継続している姿勢は重要である。

今後は、中学校の新校舎完成を控えており、新しい教育環境と地域のコミュニティ機能を融合させながら、有効な運用を進めていくことを望む。

引続き、客観的な評価を取り入れながら、魅力ある事業展開を進めていただきたい。